



2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社NJS
 コード番号 2325 URL <https://www.njs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 村上 雅亮
 (氏名) 蒲谷 靖彦
 TEL 03-6324-4355

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	6,849	7.1	1,561	5.8	1,586	5.1	1,071	5.4
2022年12月期第1四半期	6,396	14.2	1,656	2.2	1,672	0.4	1,131	4.7

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 1,116百万円 (2.4%) 2022年12月期第1四半期 1,144百万円 (4.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	112.25	
2022年12月期第1四半期	118.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	31,137	23,816	76.3	2,490.73
2022年12月期	28,178	23,082	81.7	2,413.81

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 23,764百万円 2022年12月期 23,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		35.00		40.00	75.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	21,350	11.0	2,650	37.0	2,730	35.6	1,800	4.2	188.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	10,048,000 株	2022年12月期	10,048,000 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	506,954 株	2022年12月期	506,909 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	9,541,070 株	2022年12月期1Q	9,532,791 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、経済活動の正常化に向けた動きが進む一方、ロシアのウクライナ侵攻などの影響によるエネルギー・食料価格の高騰、インフレの高進や米国の銀行破綻等、先行き不透明な状況が続きました。一方、気候変動の影響については、大洪水や熱波、干ばつ等が世界各地で相次ぎ発生しており深刻化が進んでいます。これに対して、昨年11月に開催されたCOP27ではロス&ダメージ基金が合意され、日本は10年間で150兆円のGX投資を表明しました。不透明な経済状況下でも環境への取り組みは不可欠との認識が広まっています。

わが国の上下水道事業については、新型コロナウイルス感染症の流行や気候変動の進行に対して地域の安全を守る事業として重要性が高まる一方、施設の老朽化、災害の激化、人口減少、脱炭素対応など多くの課題を抱えています。インフラの健全性維持とともに災害対策、経営効率化、脱炭素化など幅広い取り組みが必要になっています。

これに対して当社グループは、「水と環境のソリューションパートナー」として、コンサルティング、ソフトウェア、インスペクション、オペレーションの4つの分野から、健全な水と環境を守り、持続可能な社会を構築する取り組みを進めています。今後は、これらの技術と事業をさらに発展させ、次世代型インフラマネジメントを創出するとともに、これらを複合したソリューションを提案していきます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、連結受注高は2,399百万円(前年同期比14.7%増)、連結売上高は6,849百万円(同7.1%増)となりました。

利益面では、営業利益は1,561百万円(同5.8%減)、経常利益は1,586百万円(同5.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,071百万円(同5.4%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

(国内業務)

国内業務については、インフラの再構築に向けた調査・設計業務、災害対策業務、インフラの点検・調査を効率化するインスペクション事業、官民連携事業を推進するPPP業務・オペレーション事業等に取り組んでまいりました。

この結果、受注高は1,788百万円(前年同期比8.5%減)、売上高は6,156百万円(同4.8%増)、営業利益は1,562百万円(同5.2%減)となりました。

(海外業務)

海外業務については、アジア、中東、アフリカ等の新興国における水インフラ整備プロジェクトを推進してきました。

この結果、受注高は610百万円(前年同期比349.6%増)、売上高は635百万円(同37.0%増)、営業損失は40百万円(前年同期は営業損失20百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して2,959百万円増加し31,137百万円となりました。この主な要因は、流動資産の現金及び預金が595百万円、受取手形、完成業務未収入金及び契約資産が2,142百万円、未成業務支出金が128百万円それぞれ増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して2,225百万円増加し7,321百万円となりました。この主な要因は、流動負債の業務未払金が337百万円、未払法人税等が606百万円、契約負債が1,184百万円、賞与引当金が143百万円それぞれ増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して734百万円増加し23,816百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が688百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は76.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表しました連結業績予想から修正は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,980,087	14,575,947
受取手形、完成業務未収入金及び契約資産	5,404,355	7,546,522
未成業務支出金	1,720,956	1,849,297
その他	466,568	515,573
貸倒引当金	△30,032	△29,210
流動資産合計	21,541,934	24,458,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,436,967	1,390,268
土地	1,447,464	1,447,464
その他(純額)	185,746	187,554
有形固定資産合計	3,070,179	3,025,287
無形固定資産		
のれん	110,752	104,819
その他	603,101	567,947
無形固定資産合計	713,854	672,766
投資その他の資産		
投資有価証券	1,241,524	1,334,277
その他	1,667,998	1,705,214
貸倒引当金	△56,669	△57,714
投資その他の資産合計	2,852,853	2,981,777
固定資産合計	6,636,886	6,679,832
資産合計	28,178,821	31,137,962

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	1,384,059	1,722,007
1年内返済予定の長期借入金	1,436	484
未払法人税等	334,641	940,713
契約負債	252,984	1,437,321
賞与引当金	770,541	913,816
受注損失引当金	49,800	64,801
その他	1,446,417	1,375,310
流動負債合計	4,239,880	6,454,456
固定負債		
退職給付に係る負債	534,451	541,341
その他	322,035	325,591
固定負債合計	856,486	866,933
負債合計	5,096,367	7,321,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,000	520,000
資本剰余金	276,555	276,555
利益剰余金	22,473,675	23,162,151
自己株式	△792,470	△792,569
株主資本合計	22,477,761	23,166,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	442,797	507,358
為替換算調整勘定	△16,593	△3,741
退職給付に係る調整累計額	126,435	94,442
その他の包括利益累計額合計	552,639	598,059
非支配株主持分	52,053	52,375
純資産合計	23,082,454	23,816,572
負債純資産合計	28,178,821	31,137,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	6,396,178	6,849,807
売上原価	3,598,968	4,025,927
売上総利益	2,797,210	2,823,879
販売費及び一般管理費	1,140,240	1,262,726
営業利益	1,656,969	1,561,153
営業外収益		
受取利息	2,602	2,784
受取配当金	5,010	8,350
為替差益	1,894	9,514
その他	5,970	5,179
営業外収益合計	15,477	25,828
営業外費用		
支払利息	8	1
その他	43	166
営業外費用合計	51	168
経常利益	1,672,395	1,586,813
特別利益		
補助金収入	—	28,582
特別利益合計	—	28,582
特別損失		
固定資産圧縮損	—	28,422
特別損失合計	—	28,422
税金等調整前四半期純利益	1,672,395	1,586,973
法人税、住民税及び事業税	487,644	576,206
法人税等調整額	53,208	△60,574
法人税等合計	540,853	515,632
四半期純利益	1,131,541	1,071,341
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△164	322
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,131,706	1,071,018

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
四半期純利益	1,131,541	1,071,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,227	64,561
為替換算調整勘定	24,217	12,851
退職給付に係る調整額	5,228	△31,993
その他の包括利益合計	13,218	45,419
四半期包括利益	1,144,759	1,116,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,144,924	1,116,438
非支配株主に係る四半期包括利益	△164	322

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しています。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っています。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内業務	海外業務	計				
売上高							
上水道	1,442,046	297,304	1,739,350	—	1,739,350	—	1,739,350
下水道	4,296,369	48,562	4,344,931	—	4,344,931	—	4,344,931
環境その他	137,152	117,832	254,984	—	254,984	—	254,984
顧客との契約から 生じる収益	5,875,568	463,699	6,339,267	—	6,339,267	—	6,339,267
その他の収益	—	—	—	56,911	56,911	—	56,911
外部顧客への売上高	5,875,568	463,699	6,339,267	56,911	6,396,178	—	6,396,178
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,875,568	463,699	6,339,267	56,911	6,396,178	—	6,396,178
セグメント利益又は 損失(△)	1,648,090	△20,363	1,627,726	29,242	1,656,969	—	1,656,969

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を行っています。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内業務	海外業務	計				
売上高							
上水道	1,455,825	237,246	1,693,071	—	1,693,071	—	1,693,071
下水道	4,375,015	84,604	4,459,619	—	4,459,619	—	4,459,619
環境その他	325,523	313,555	639,078	—	639,078	—	639,078
顧客との契約から 生じる収益	6,156,363	635,406	6,791,770	—	6,791,770	—	6,791,770
その他の収益	—	—	—	58,037	58,037	—	58,037
外部顧客への売上高	6,156,363	635,406	6,791,770	58,037	6,849,807	—	6,849,807
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,156,363	635,406	6,791,770	58,037	6,849,807	—	6,849,807
セグメント利益又は 損失(△)	1,562,895	△40,987	1,521,908	39,244	1,561,153	—	1,561,153

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を行っています。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。